

# 伊丹ルーテル教会 三位一体主日礼拝

## 2021年5月30日

### 前奏：

#### 聖名による挨拶

牧師：父と御子と聖霊の御名によって。アーメン。

会衆：アーメン。

牧師：主よ、わたしのくちびるを開いて下さい。

会衆：そうすれば、私の口はあなたのほまれを告げるでしょう。

一同：父と御子と聖霊の神に、栄光が、初めにそうであったように、  
今も、そしてとこしえまでもありますように。アーメン。

#### 招きのことば：詩編 27 編 1-6 節から

主はわたしの光、わたしの救い わたしは誰を恐れよう。

主はわたしの命の砦 わたしは誰の前におののくことがあろう。

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

命のある限り、主の家に宿り 主を仰ぎ望んで喜びを得 その宮で朝を迎えることを。

災いの日には必ず、主はわたしを仮庵にひそませ 幕屋の奥深くに隠してくださる。

岩の上に立たせ 群がる敵の上に頭を高く上げさせてくださる。

わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、歓声をあげ 主に向かって賛美の歌をうたう。

#### 罪の悔い改めと赦しのことば

会衆：私たちは生まれつき 自分中心 わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に  
罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストに  
よって、どうかあわれんでください。アーメン。（短い黙祷を持ちましょう）

牧師：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子 イエス・  
キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言  
します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して  
行きなさい。アーメン。

#### 使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、  
陰府(よみ)にくんだり、三日目によみがえり、天にのぼり、  
父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、  
からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。**アーメン**。

## 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたは私たちにあなたの独り子であるイエス様を与えてくださいました。その十字架の苦しみと三日目のよみがえりによって、あなたは私たちに赦しと命を与えてくださいました。イエス様を救い主として、また主として信じる信仰を、聖霊様が私たちに与えてくださいました。

父、御子、聖霊の、ひとりのまことの神様が、私たちを大切にし、真実を示し、罪を赦し、神様の子どもにしてくださることを感謝をいたします。

あなたの愛と憐みの中で、先週の歩みも守られました。感謝をいたします。どうぞ今週も、恐れやとまどいの中にいる隣人に、このイエス様にある喜びと祝福を分かち合う一週間とさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大によって今多くの方々が苦しみの中におられます。私たちも毎日こわくなります。緊張します。どうぞ、助けてください。

病気の人のお世話をしたり、生きていくために必要なものを整えて働いてくださる方々が苦労しています。お支えください。

今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。このために力になってくださった方々を祝福してください。

私たちはよみがえられた主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

このお祈りを、イエス様の御名によっておささげいたします。**アーメン**。

## 使徒書：ローマ人への手紙 8章 12-17節

兄弟たち、わたしたちには一つの義務がありますが、それは、肉に従って生きなければならないという、肉に対する義務ではありません。肉に従って生きるなら、あなたがたは死にます。

しかし、霊によって体の仕業を絶つならば、あなたがたは生きます。神の霊によって導かれる者は皆、神の子なのです。あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。

この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒に証してくださいます。もし子供であれば、相続人もあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです。

**福音書：ヨハネによる福音書 3章 1-17節**

さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。ある夜、イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」イエスは答えて言われた。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれることができますよう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるでしょうか。」

イエスはお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」

するとニコデモは「どうして、そんなことがありえますか」と言った。イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。はっきり言っておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証しているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。天から降って来た者、すなわち人の子のほかに、天に上った者はだれもない。そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。」

**説教「独り子を与えるほどに」**

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

今朝の礼拝は、三位一体主日の礼拝です。父なる神様がクリスマスに人としてお与えくださった神の独り子である御子イエス様が地上でのお働きを終えて復活され、昇天され、私たちは先週、約束通り聖霊がくださった聖霊降臨日、ペンテコステをお祝いいたしました。三位一体主日は私たちの神様は父、御子、聖霊の三位一体の神様であることを覚え、またそれが私たちにとってどのような意味があるかを知って感謝をする日です。

今朝は新約聖書ヨハネによる福音書の3章が開かれました。ここにイエス様はいったいだれなのだろう、と不思議に思い、勇気をもって直接尋ねに来たイスラエルの指導者ニコデモが登場します。

ニコデモは議員であった、と記されていますが、サンヘドリンと呼ばれるイスラエルの最高議決機関であり最終法廷の議員であったのでしょう。ニコデモは神様を信じ、聖書に精通し、品格や学識だけでなく人々からの信頼を一身に受けていた一握りの代表者のひとりでした。その働きは神様の民であるイスラエルを治める働きです。その中心には神様が古くモーセを通してお与えくださった律法を守るように民に教えるラビと呼ばれる教師としての働きが占めていました。ニコデモは神様にお仕えするその責任ある任務を果たしていました。

イエス様は公のご生涯を始め、バプテスマのヨハネから洗礼を受け、弟子たちを呼び集め、故郷の近くで親戚の結婚式において最初の奇跡をおこなったあと、都エルサレムにのぼって、礼拝の中心だった神殿の境内から商売人たちを追い出して注目を浴びました。このようなできごとをいち早く察知して、ニコデモはこのイエスという方はどんな人だろうと思ってある夜イエス様のもとに訪ねてきました。

ニコデモはイエス様に、あなたは父なる神様のもとから来られた方だ、と切り出しました。わたしもそうだが、あなたも立派な先生だ、あなたは神様のもとから来られ、また神様はあなたとともにおられると思う、とイエス様を認め、またほめたのです。

聖書を読んだり、イエス様のお話を聞いたりして、イエス様はすばらしい方だ、とても立派な人生の先生のような方だ、と思う人なら、このニコデモの気持ちを理解できると思います。

イエス様は聖書をよく知って人々に教えているニコデモに、上から生まれなおさなければ、神様の国を見ることができない、と言われました。お母さんから生まれたその命では天国に行けないということです。ニコデモは戸惑いました。自分はよい行いをするように自分を律し、また人に教えてきたのです。尊敬と信頼を得て、今議員をしているのです。その自分はそのままで神様の国の一員であるどころか、神様の国を見ることさえできない、とイエス様が言われたので驚き戸惑いました。イエス様は水と霊によって生まれないと、神様の国に入ることができない、と続けられました。聖霊に導かれて洗礼を受けるということです。理解していないニコデモにイエス様は聖霊の働きを教えました。ちょうど風は目に見えないけれどその音を聞くことで気付くように、聖霊もご自分の思いのまま働かれて人々を新しく生まれさせるということです。ニコデモの疑問はさらに深くなりました。

イエス様は、ニコデモにこれまで自分が教えてきたことを思い起こさせました。モーセの物語です。旧約聖書民数記 21 章に記されていることです。モーセは、エジプトで奴隷となって苦しんでいたイスラエルの民を連れ出した偉大なリーダーでした。民は砂漠でさまよう中でのちの危険を感じ、モーセを疑い、神様への不信感をつのらせました。民は再び自分の力ではどうにもならない究極的な苦しみを経験する中で、神様が決して民を見放さないこと、民の祈りを聞き、民を正しく支え導く方であることを信じるように鍛えられたのです。

ニコデモが導いていたイスラエルの民は、その後神様に逆らって別の神様をつくって拝み、まことの神様を軽んじていたため、大きなバビロンという国に滅ぼされて連れていかれてしまいました。そこから解放されてエルサレムの神殿を再建しましたが今はローマという世界帝国の属国になっていました。何とか神殿は残されていましたが、ローマの機嫌をそこねないように自由は制限され、ローマから遣わされた総督という上級政治家の監視下に置かれていました。モーセの民は、神の送られた炎の毒蛇に次々に噛まれて苦しみました。神はモーセに語って、蛇をかたどって作り、旗竿の上に掲げて、この青銅製の蛇、ブロンズ製の蛇を仰ぎ見るものは命を得る、と告げさせたのです。

ニコデモはその続きを知っていました。毒蛇の毒が体をめぐり苦しむのは、その神様の約束のことばを信じて旗竿の上の蛇を見上げた人から去り、彼らは命を得て元気になりました。

イエス様は、ちょうど青銅の蛇と同じように、ご自分も上げられなければならない、と言われました。十字架という木にかけられて上げられなければならないと言われたのです。民は蛇の誘惑によって自分を神様とする罪びととなりました。そのままでは神様の裁きのもとで苦しむいのちを失います。そして、それは自分の力では解放されない定めです。モーセの率いた民は荒野で飲み水や食べ物が乏しく、長い間の苦しみに肉体的にも精神的にも疲れ果てて、それだったらいっそのこと、エジプトにいたほうがよかった、神様は私たちが荒野で死なせるためにわざわざ奴隷から解放したのか、と不満をもらしました。その不満は実は苦しみの中で生まれたのではなく、もともと人々が神様を心底信じない自己中心の性質が苦しみによってあぶりだされたことだったのです。神様はそれに気づかせて、自分でどうにもならないその自己中心という罪を赦すために旗竿の上に掲げる蛇をモーセにつくらせたのでした。

ローマの圧政の中で苦しんでいる人々は救い主を待ち望んでいました。神様はイスラエルの民を救うためにローマの国にまさるようなさらに強大な国を作ることによらず、その苦しみの中であらわになっている、人の力ではどうにもならない自分中心、わがままな人々を、十字架にあげられることで赦し、救い、命をあたえるために、御子イエス様をお与えくださったのです。

私たちはどうでしょうか。いろいろな不安があります。いろいろな恐れがあります。いろいろな取りこし苦勞や過ぎ越し苦勞の奴隷になっています。不安やストレスを紛らわせるために気分転換やうさばらしをします。自分を変えようと努力もします。犠牲になっていることで悲劇のヒーローだと憐れんで自己陶醉します。どこまでも自己中心です。しかし、苦しみの中で本当にあらわになっているのは、自分で変えようもない、自己中心でわがままな自分の姿です。神様に作られているのに、神様を離れ、自分の考えや感覚を鍛えて生きようとしています。まことの神様を信頼せず、隣人にも愛のない、神様の御前に罪びとです。

イエス様はあなたのために、十字架にかかって死んでくださいました。それはあなたの自己中心の罪を赦して、神様の子どもにするためです。この約束がヨハネ3章16節のみ言葉です。

あなたが罪を悔い改め、自分の力に望みをかけることをやめてこの約束を信じることができるように、聖霊はあなたの心を神様の約束であるイエス様に向くように導いてくださいます。イエス様を信じて、洗礼の恵みにあずかるとき、あなたも神によって生まれた神の子とされます。

苦しみの現実を新たな目で見ることができいのちが与えられます。信仰が鍛えられ、神様があなたを見捨てず、子どもとして愛して導いてくださることをあなたは根本的な人生の土台に据えます。あなたは人を甘やかしかねない愛だけではなく、人を打倒しかねない真理だけではなく、隣人をほんとうに大切にす愛をもって、時には聞きたくないこともその人を立て上げるために真理を語るものとされます。人々を赦し正します。あなたの身近な人を倒すのではなく、見捨てるのではなく、むしろ立て上げるために、あなたはその環境と関係をつくります。

ニコデモは後にもう一度登場しますが、十字架にかけられたイエス様の遺体に高価な香油を添えて亜麻布で包んで丁寧に埋葬をしました。荒野で挙げられた蛇のように、十字架に挙げられたイエス様を身近に見ていたのです。ローマ帝国の力からの救いではなく、その前に、罪からの救いをいただいて、ニコデモは自己中心から解放され、神の子として新しいいのちを生きていったのです。

父なる神様があなたのすべての罪を赦すためにその独り子イエス様を十字架の上で死に渡されました。イエス様の赦しといのちがあなたのためであったと、約束を信じて洗礼を受ける信仰を聖霊様があなたの中につくり育ててくださいます。父、御子、聖霊の三位一体の神様はあなたに罪の赦しを与え、あなたを神様の子どもとして、新しい命に生きるように責任をもって導き通して下さるお方です。今週も私たちは神様の約束であるイエス様を信じる信仰に、聖霊によって強められて歩んでいきます。

ヨハネによる福音書 3章 16節 神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された。独り子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いを、キリスト・イエスにあってまもってください アーメン

#### **讚美歌 527番 「わが喜び、わが望み」 1, 4, 5節**

1. わが喜び わがのぞみ わがいのちの主よ 昼たたえ 夜うたいて なお足らぬをおもう

4. 主の御顔のやさしさに みつかい喜び 御言葉のうるわしさに 天地(あめつち)歌えり

5. ならびもなき 愛の主の みこえぞうれしき わが望み わが命は 永久(とわ)に主にあれや

**アーメン**

#### **主の祈り**

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。

みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。  
われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに  
あわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり  
アーメン

### **頌栄の讚美歌 541 番**

父、御子、御霊のおお御神(みかみ)に ときわにたえせず み栄えあれ み栄えあれ **アーメン**

### **祝福のことは**

仰ぎこい願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき御交  
わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週  
間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。**アーメン**

### **アーメン三唱、後奏**